

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	27	坂城	高等学校	全 課程	普通 科
------	----	----	------	------	------

学校教育目標		道徳教育の重点目標	
自らのライフ・キャリアをデザインし、地域社会に主体的に関わる貢献できる人の育成 ●自他の大きさを認めチームで活動できる ●地域の良さを知り情報発信できる ●社会の一員として自覚をもって行動できる ●時代の変化に応じてキャリアデザインできる		1 学校の諸活動を通して、自律的、主体的な行動を身につける。 2 他者と協働する活動を通して、集団の一員としてよりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 3 自他の声明を尊重する態度を涵養し、一人ひとりのあり方生き方を尊重する道徳性を養う。 4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくる、特にいじめは絶対に許さないという心を育む。	
重点目標 1 学ぶ楽しさを実感し、学びを深め広げながら主体的に進路選択でき進路実現できる生徒を育む 2 他者を理解し自他の大きさを認め支えあいながら人権感覚を育み、いじめや暴力を許さない学校づくりを推進する 3 保護者や地域に校内の教育活動を適時情報発信し連携を深めながら、地域に開かれた学校づくりを推進する			

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	キャリア教育を中心とする活動を通じて、自己理解・他者理解を深めるための基本となる資質・能力を涵養する。	「坂城学」の活動を通じ、自己理解・他者理解を深めるとともにコミュニケーション能力を育む。 ○各種検査 ○参加型ガイダンス ○SST研修 ○保育体験 ○企業見学会	仲間とともに協力しあう活動の充実を図り、お互いの大切さを認めあい、良好な人間関係を構築する。 ○SNS等情報発信の正しい利用方法について ○人権学習	活動を通じ、仲間と一緒に協働することの大切さを学び、自己肯定感を高める。 ○部活動、生徒会活動を通じた、人間関係のあり方にについての考察 ○葛尾祭	言葉の持つ力への認識を深め、生涯にわたって言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育む。	地理歴史
2年	キャリア教育を中心として、主体的に考え行動する姿勢を伸長し、社会の中で他者と協働しながら自分がどう生きていく基礎的、汎用的な能力を涵養する。	「坂城学」の活動を通じ、様々な学習や体験をもとに、自己のあり方、生き方を考える。 ○インターンシップ等体験活動 ○進路探究	仲間とともに協力しあう活動の充実を図り、他者と協働し、良い集団をつくる力を育む。 ○人権学習	生徒会活動・部活動等を通じ、リーダーシップを發揮し、集団を良い方向に導く経験を積む。 ○部活動、生徒会活動のより良いあり方についての考察 ○葛尾祭	政治、経済等現代の諸課題について考える経験を通じ、よりよい社会の実現に向けて主体的に関わろうとする態度を育む。	公民
3年	キャリア教育を中心とした活動を通じて、自己理解を深めるとともに、他者を尊重し、協働しながらよりよい社会の創造に貢献する資質・能力を伸長する。	進路希望実現のための活動を通じ、自己理解を深めるとともに、他者を尊重し、協働しながらよりよい社会の創造に貢献する資質・能力を伸長する。 ○進路探究 ○卒業研究	高校生活のまとめとして、それまでの経験や培ってきた能力をもとに社会の構成者として社会の諸課題に対して積極的に向き合っていく資質・能力を伸長する。 ○人権学習 ○社会貢献活動	生徒会活動・部活動等を通じ、自己、他者、集団の目標実現に向けて、主体的に考え、行動する経験を積む。 ○生徒会・部活動運営 ○葛尾祭運営 ○社会貢献活動	自然の事物・現象を探求する活動を通じ、真理を追究し、社会課題の解決を指向しようとする態度を育む。	理科
					運動や健康について自他や社会の課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断する力を育む。	保健体育
					創造的な表現や工夫により、自他の心豊かな生活や社会を創造する態度を養う。	芸術
					外国語によるコミュニケーションを通じ、外国語の背景にある異文化の理解を深める中、自他を尊重する態度を育む。	外国語
					家庭や地域及び社会の課題解決について取り組む活動を通じ、様々な人々と協働しよりよい社会の構築に貢献する態度を育む。	家庭
					現代の情報社会の中で、情報技術を適切かつ効果的に活用し、課題解決に向けて貢献しようとする態度を育む。	情報
					探究活動に主体的、協働的に取り組み、自他の良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育む。	総合的な探究の時間
					社会生活で必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築に主体的に取り組む態度を育む。	商業

家庭・地域との連携	○生徒の主体的な活動と成長を支援するため、積極的な情報発信につとめ、校内の諸活動、学校の課題を地域社会と共有する。 ○日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに、他者を尊重する心を伸長し、よりよい社会づくりに貢献できるよう支援するため、様々な機会をとらえ家庭との連携をはかる。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------